

 AIRDO^{こうくう}航空教室

パイロットのしごと

かんしゅう かぶしきがいしゃ
監修：株式会社AIRDO

作・絵：すずきもえの





ぼく
僕は飛行機が大好き！
今日の航空教室、すごく楽しみだな～。



みなさんこんにちは。

わたし

私は AIRDO のパイロットとして働いています。

わたし

しょうかい

今日は私の仕事について紹介したいと思います。



(パイロットさんって飛行機そうじゅうを操縦している人だよな？
ふだんどんなことをしている人なんだろう？)

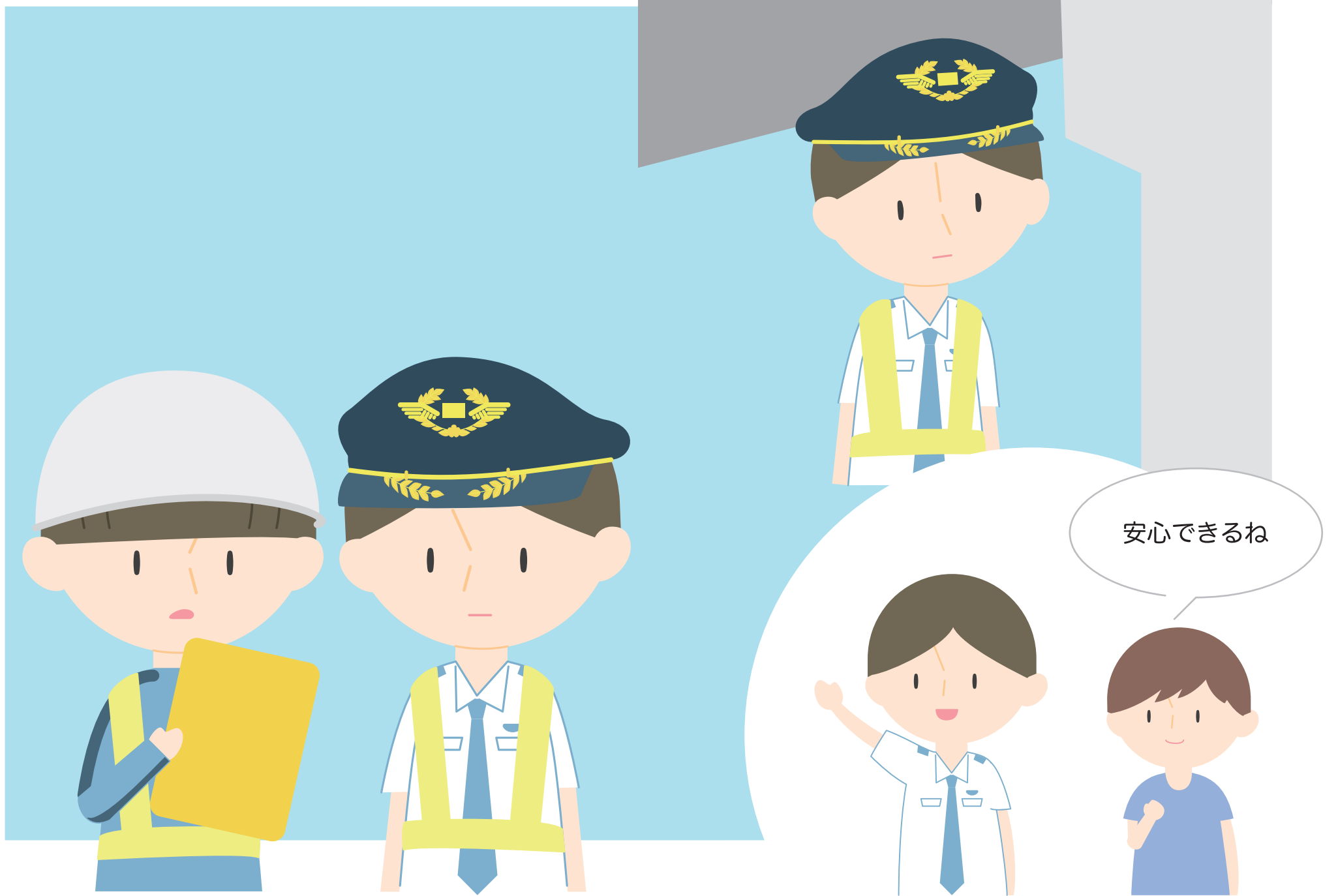


パイロットの1日の仕事の流れを説明します。

まず、その日のフライトのブリーフィング*をします。

空港の天気や上空の揺れゆを確認して、その時に合ったフライトができるようにしています。

*ブリーフィング：飛行前に行う打ち合わせ



次に飛行機てんけんの点検をします。



パイロットさんも飛行機てんけんの点検するの!?



そうなんです。

まず整備士せいびしさんから飛行機てんけんの状態じょうたいを確認かくにんしますが、さらに自分たちの目でも
安全あんぜんを確認かくにんしています。



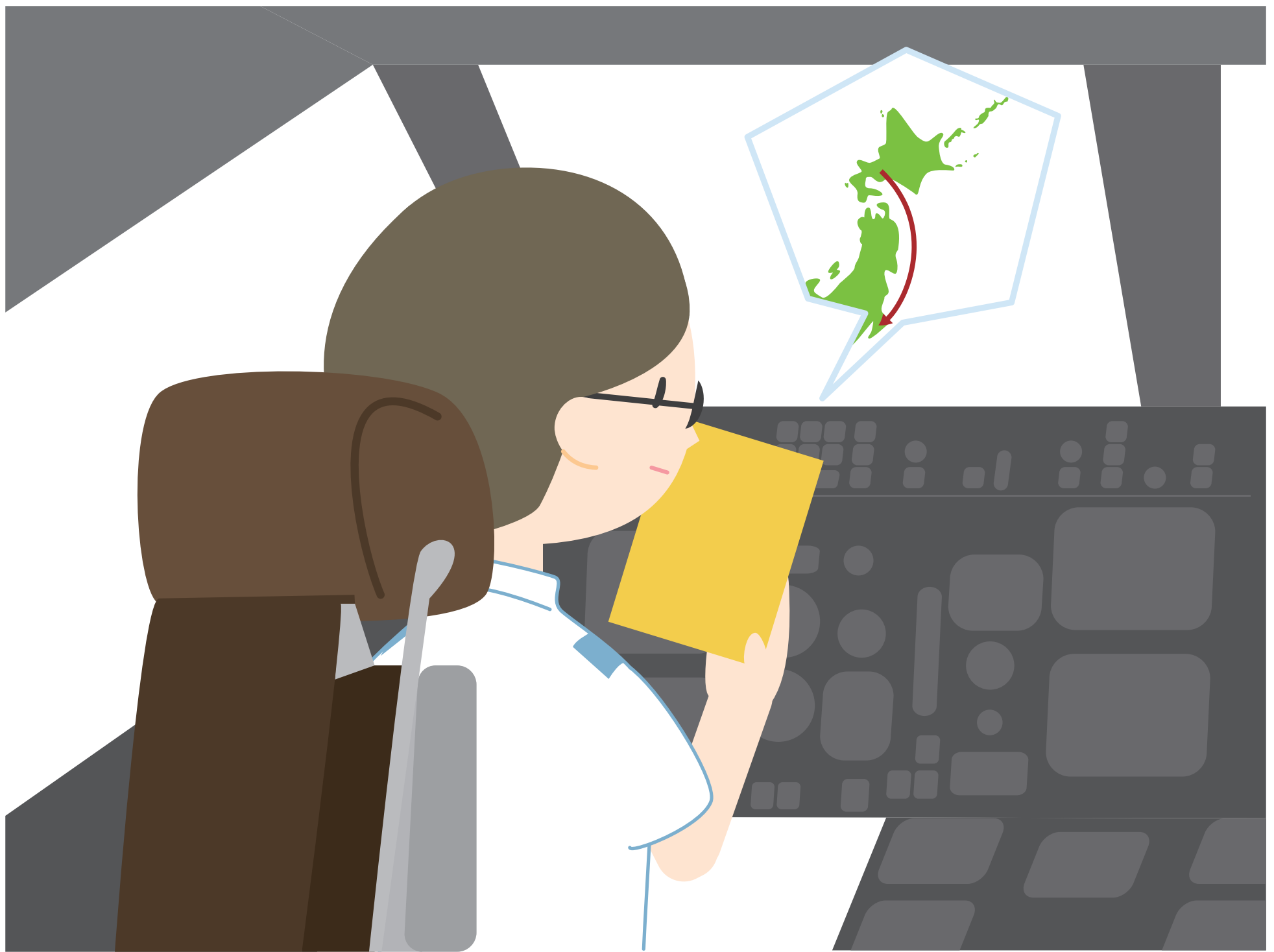
そして機内で飛ぶための準備じゅんびをします。
コックピットでまず天気かくにんを確認します。



ブリーフィングの時も確認かくにんしたのに飛行機でも確認かくにんするの？



ブリーフィングの時と気温や風の強さが変わっている場合があるので、機内でも確認かくにんするようにしています。



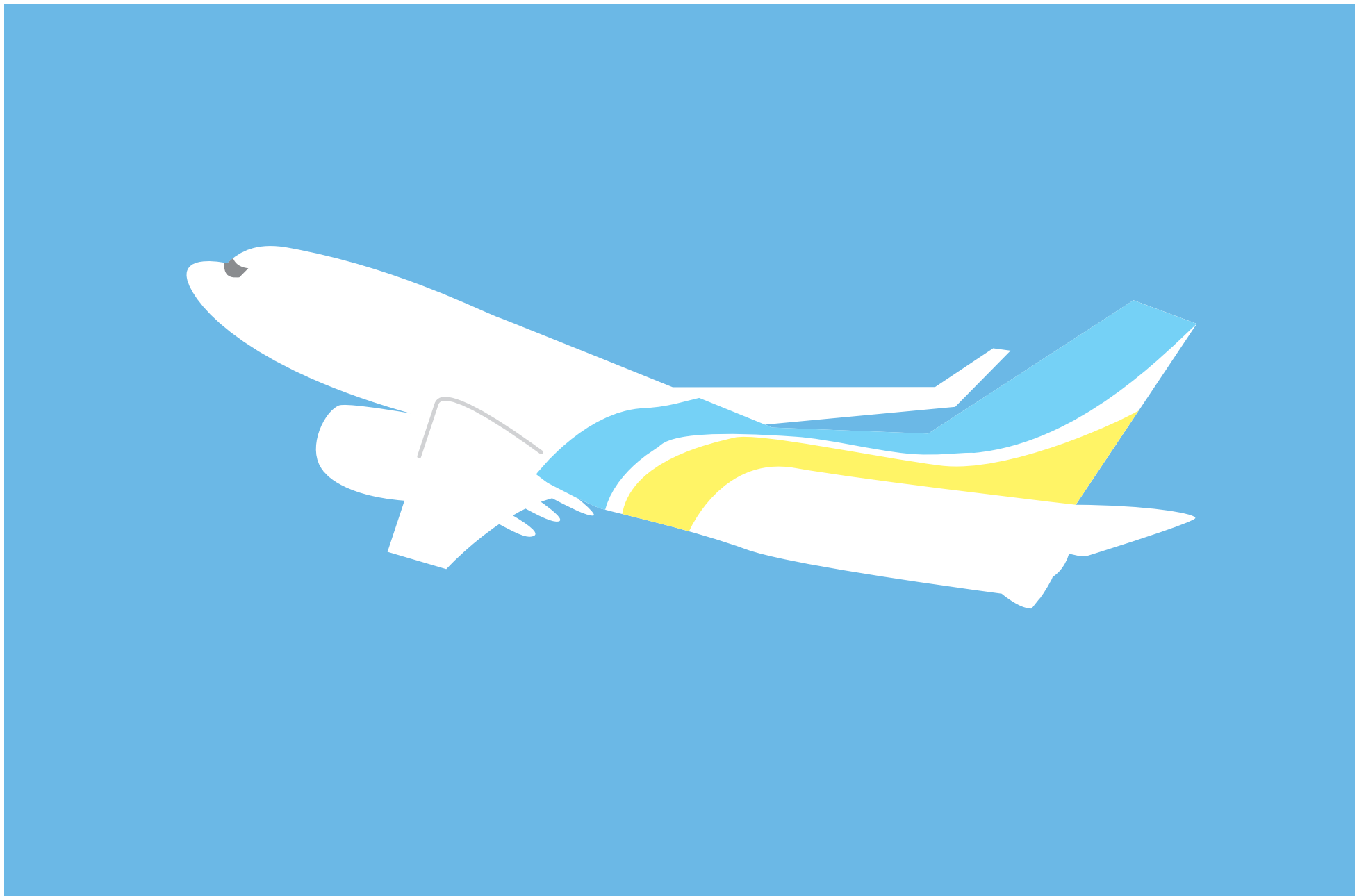
その後飛行機の設定せっていをします。



飛行機の設定せってい？



車のナビのように目的地までのルートなどを確認かくにんして入力します。



そうしてよいよ^{りりく}離陸します。



飛ぶまでに地上でもたくさんの仕事があるんだね。



飛行中はパイロット同士のやりとりはもちろん、イヤフォンマイクを通じて
キャビンアテンダントさんや地上にいる航空管制官さん、整備士さんなどと
安全にフライトするための情報を交換しています。



空の上でもやりとりしているんだ！



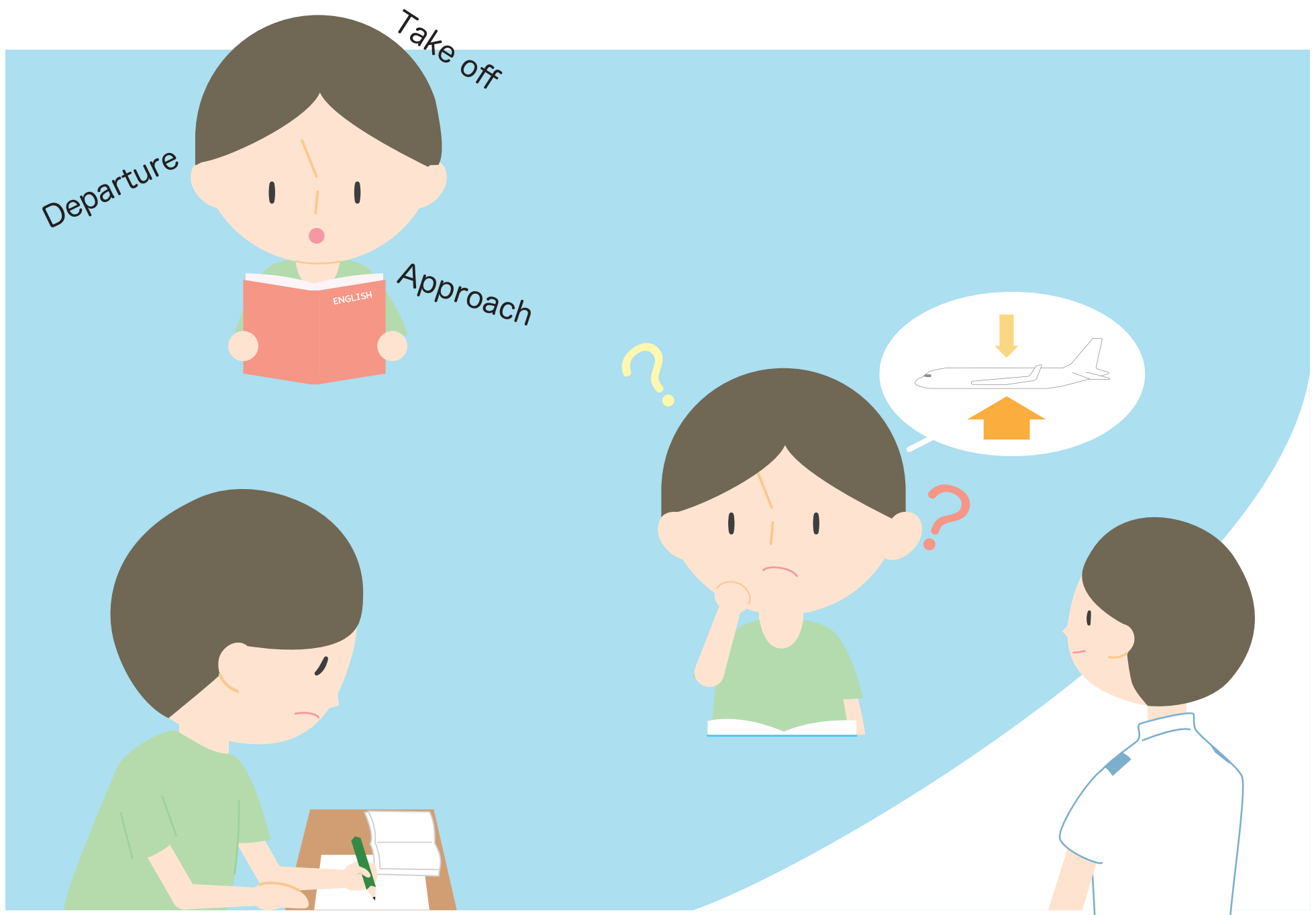
どうしてパイロットになろうと思ったんですか？



わたし私が初めて飛行機を見た時、どうしてあんなに大きな乗り物が空を飛ぶんだらうと思い、調べているうちに自分でそうじゅう操縦してみたいと思うようになりました。

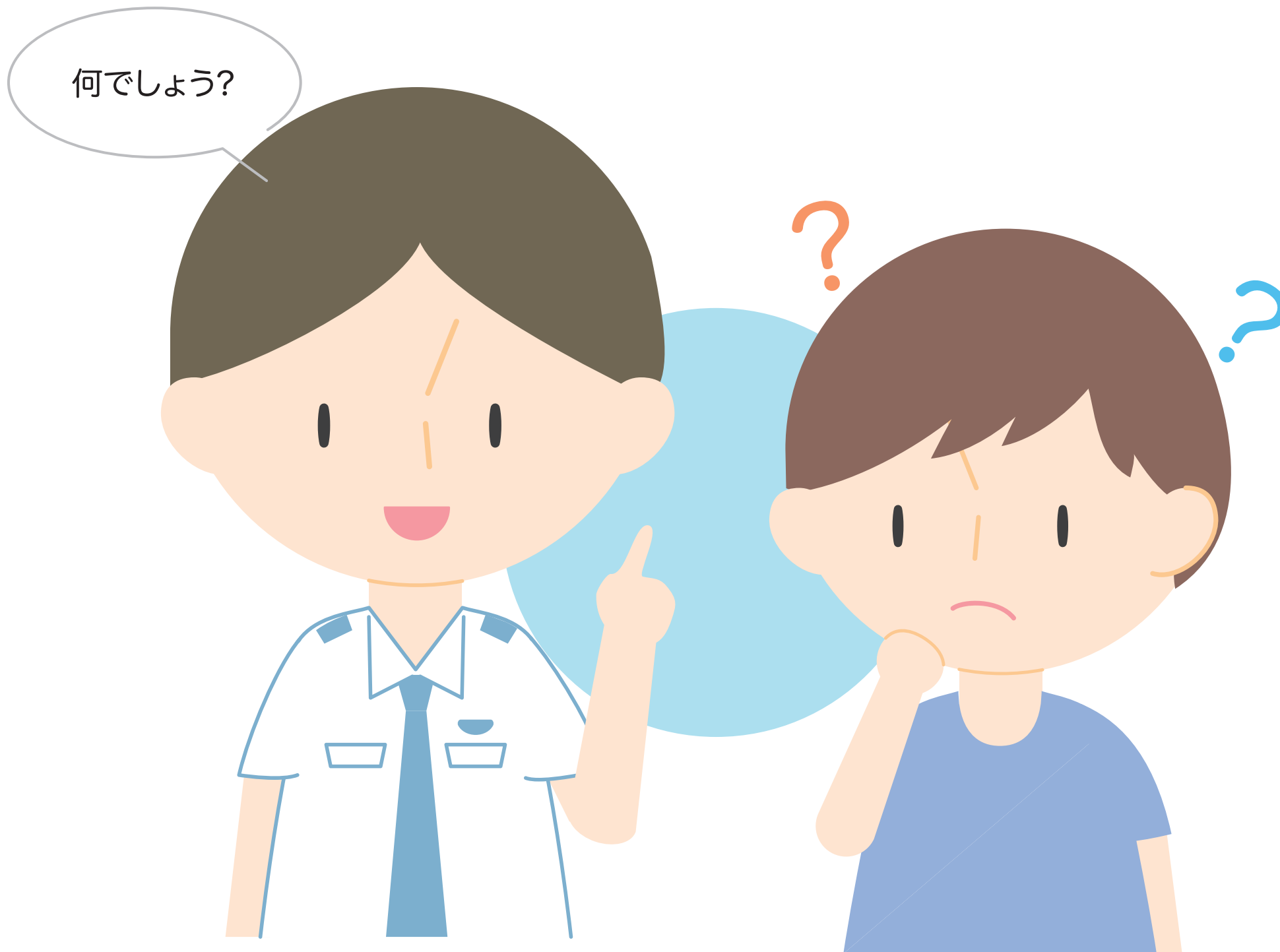


へえ～!! そうだったんだ!



飛行機が飛ぶ仕組みや、パイロットになるためにはどんな勉強が必要か、先生に聞いたり、本やインターネットでも調べたりしました。

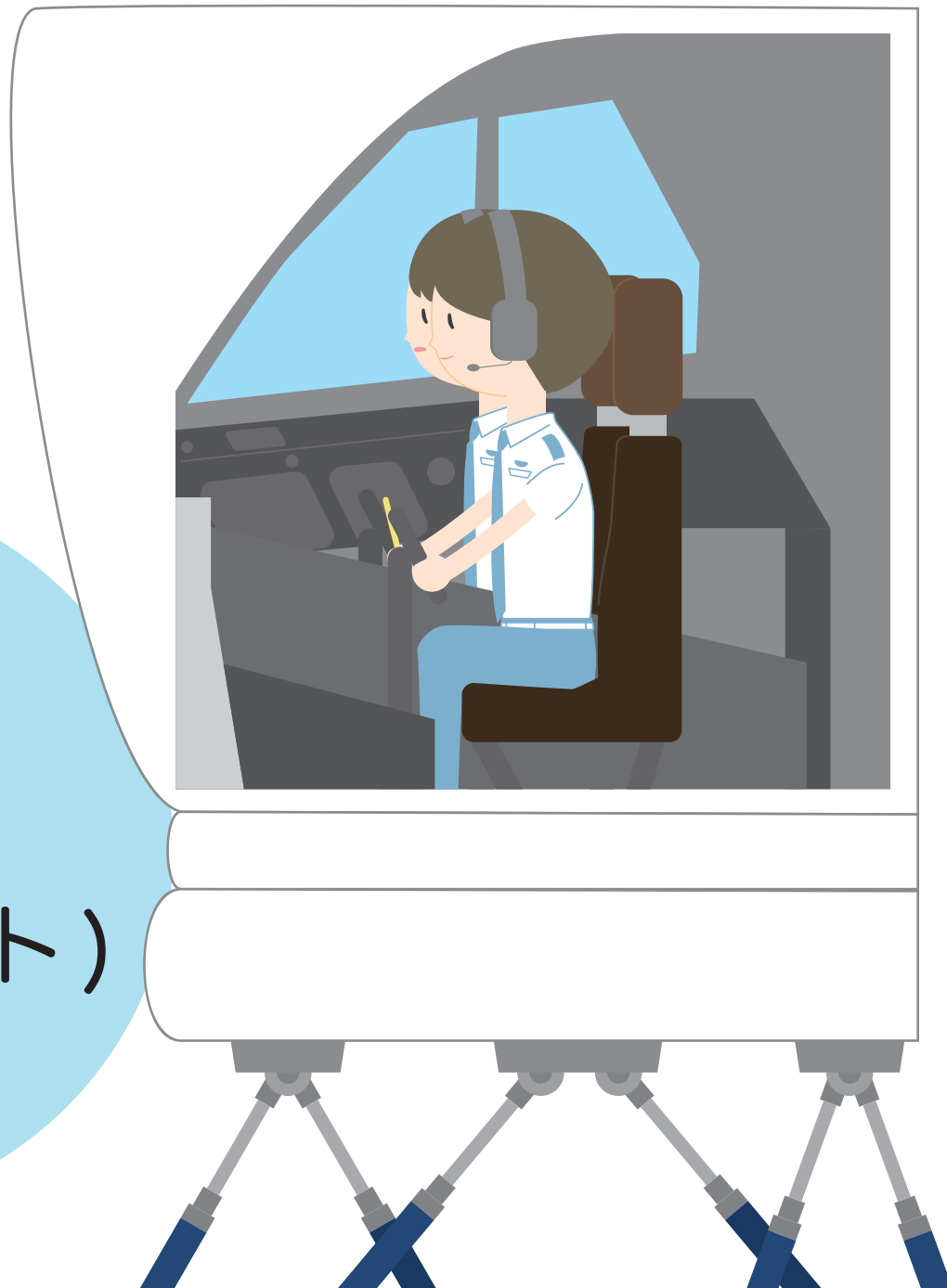
また目標が決まったら、とくい得意じゃない科目の勉強も一生懸命いっしょうけんめい頑張りました。



1日の仕事の流れはここまでですが、パイロットの免許(ライセンス)を維持するため、そしてより飛行機を安全に運航するためにしていることが2つあります!



訓練
試験(テスト)



何だろう？お勉強とか？

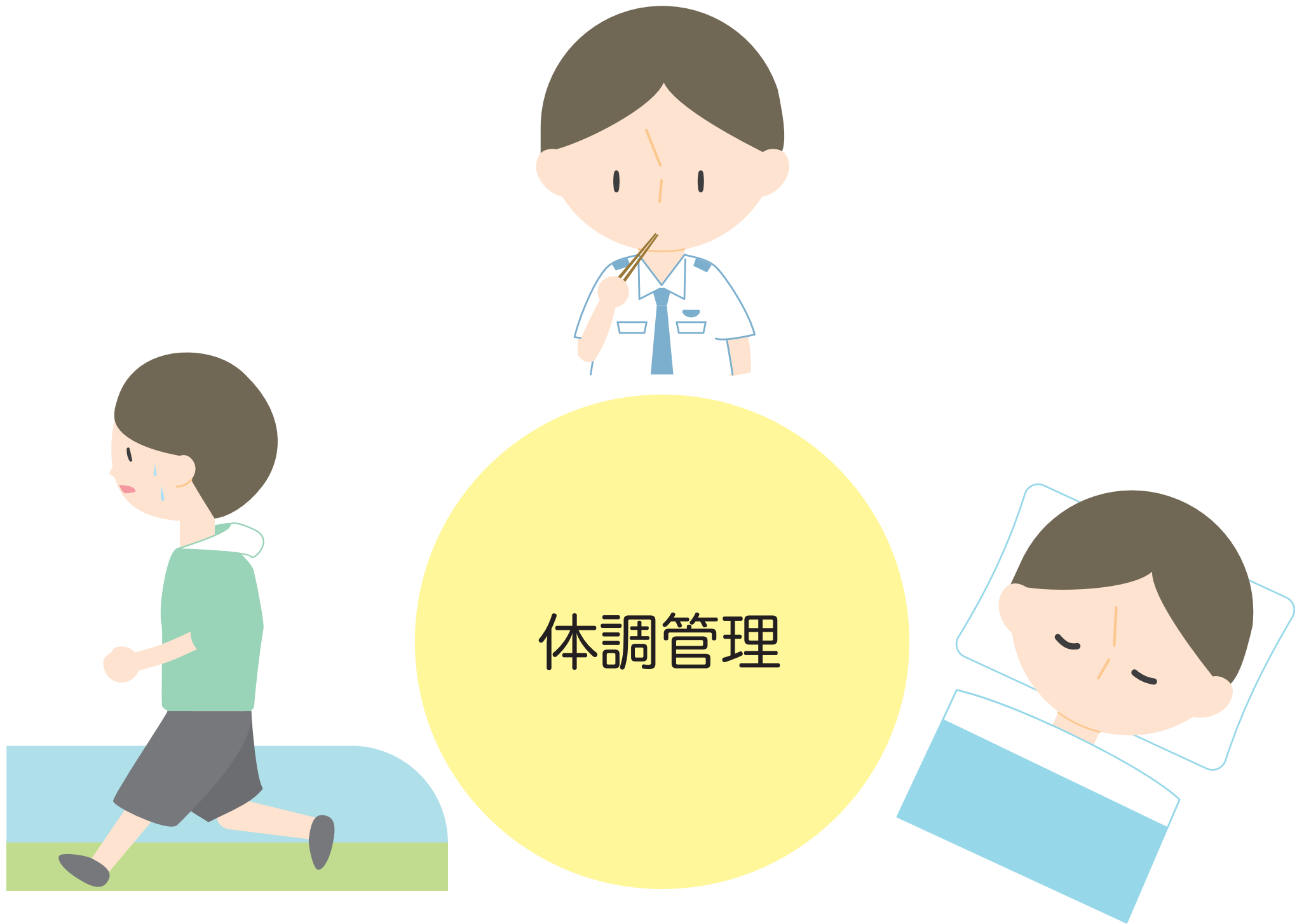


そうです。一つ目は訓練です。

シミュレーターを使って実際の飛行機のように様々な訓練を行い、定期的にテストを受けています。



あともうひとつは…？



体調管理



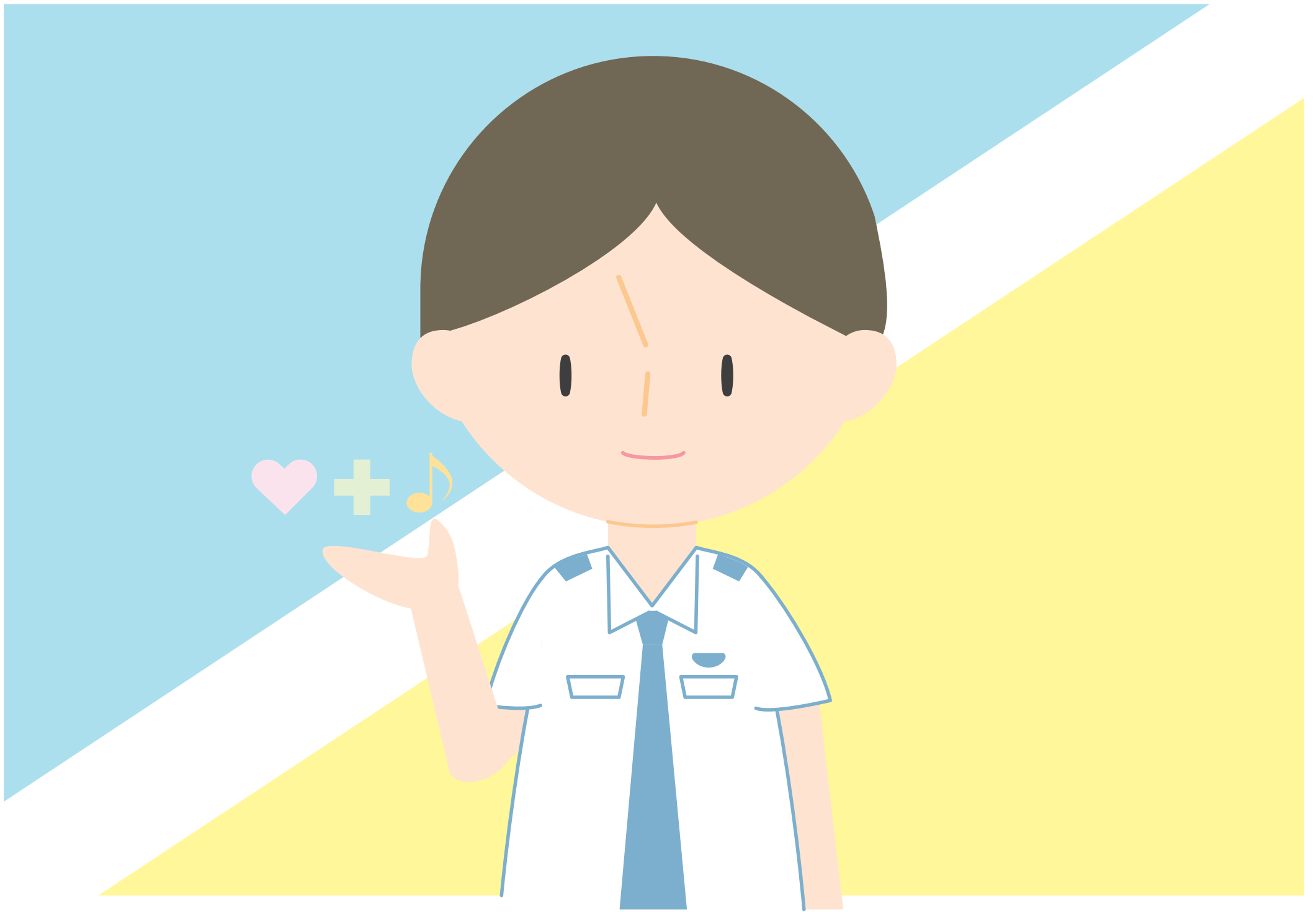
もうひとつは…体調管理です。毎年特別な検査けんさを受けています。
実は技術ぎじゆつだけではパイロットになれません。



へえ～そうなんだ！でもなんで？



操縦そうじゆうしている時に体調を崩くずしてしまわないようにするためです。
私わたしたちはお客様の命いのちを預あずかっているため、体調管理は欠かせません。

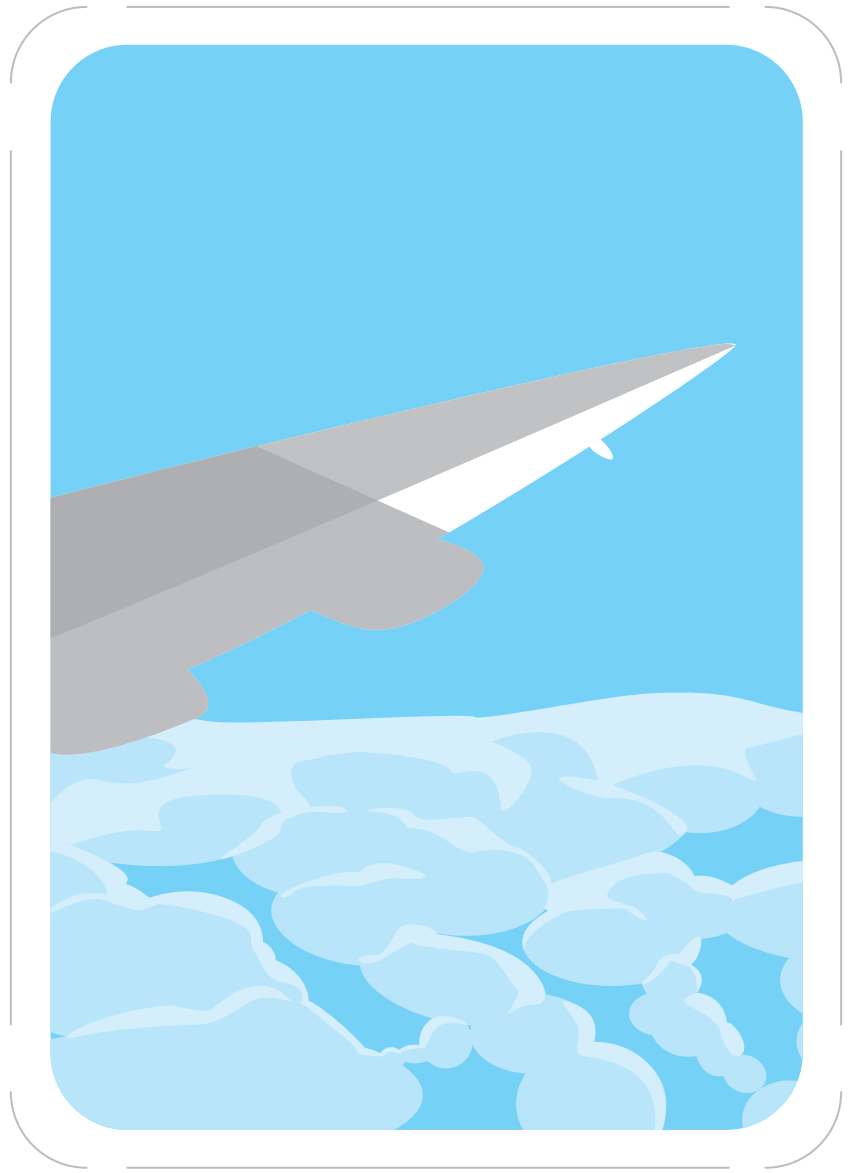


わたし
私たちは安全・安心・快適な空の旅を提供し、お客様に良いフライトだったと
かいてき ていぎょう
思ってもらえるように、日々努力しています。

みな
皆様のご搭乗お待ちしております！
とうじょう



パイロットさんは出発前から僕^{ぼく}たちに安全・安心^{とど}に届けるための準備^{じゅんび}を入念にしているんだな～。みんな安心して空の旅が楽しめるね！



監 修：株式会社A I R D O CSR 企画推進室
制 作：若林尚樹
絵・文：鈴木萌乃
協 力：安齋利典
札幌市立大学デザイン学部
発 行：2021年3月31日